



2024瑞浪市制70周年

土岐地区まちづくり広報

第67号

令和5年6月

# とんぼめさ

## 「草刈り女子 育成教室」 9月実施予定

【こらむ】

- ◎令和5年度のまちづくりが始動しました(会長挨拶)
- ◎土岐橋の架け替え工事が進んでいます
- ◎五月の空に鯉のぼりが舞う
- ◎市制70周年記念ゴルフコンペの参加者を募集します(予告)
- ◎オープン間近 きなあた瑞浪バーベキュー広場

【探訪と再発見】 やっぱり凄い 櫻堂薬師



五月の黄金週間。土岐川河川に沢山の鯉のぼりが元気よく泳ぎました。本紙コラムでも紹介しています。



## 令和5年度のまちづくりが始動しました



土岐地区まちづくり推進協議会  
会長 土屋泰次郎

本年度も、当土岐地区まちづくり推進協議会の活動へ、より一層の温かなご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

しかしこの期間は、地域づくりの必要性和そのあり方について再考させられた期間でもありました。今後さらに新たな取り組みの案を出し合い検討を重ねながら、土岐地区の皆さんの生活をより楽しく、より豊かに、より味わい深いものにできるように、人と人とのつながりを大切にしたまちづくり活動を進めていく所存でございます。

暗く長いコロナ禍のトンネルもようやく出口の光が見えてきた気がします。  
これまで、ふれあいを生み出すことを目的とした事業を中心にまちづくり活動が企画されながら、コロナ禍により中止という流れを繰り返し3年ほどが過ぎました。

## 土岐橋の架け替え工事が進んでいます

「土岐」の名前を冠する土岐橋は、2月10日(金)、式典を終えて解体が始まり、順調に工事が進んでいます。完成の予定は令和7年秋ごろが見込まれ、どんな橋が完成するか楽しみです。また、中央橋も耐震補強工事が進められたり、きなあだ瑞浪バーベキュー広場から土岐川に降りる階段が出来たりと、土岐川の景色がどんどん美しく整えられていきます。



架け替え工事が進む土岐橋

## 五月の空に鯉のぼりが舞う

4月22日(土)、土岐川河川敷に鯉のぼりを揚げる会(代表: 可知正己さん)の皆さんによって、土岐小学校校舎や近隣の河川敷に鯉のぼりが揚げられました。昨年からはじめられた活動で、地域住民や幼稚園や小学校の子どもたちから沢山の喜びの声が寄せられました。五月晴れの空の下、爽やかな風に舞う鯉のぼりは、見る者の心にも爽やかな風を運んでくれました。



## 市制70周年記念ゴルフコンペの参加者を募集します(予告)

開催日: 令和6年4月25日(木)  
コース: 瑞浪高原ゴルフ倶楽部

土岐地区区長OB会では、令和6年の瑞浪市制70周年を記念して親睦ゴルフコンペを開催します。ゴルフを通じてまちづくりに参与しましょう。皆さん、どうぞ記念コンペにご参加ください。9月1日から一般募集させていただきます。なお、70名になりましたら募集を終了します。

問い合わせ先: 三宅勝己(大久手)  
電話: 080-8261-7052



# オープン間近 きなあた瑞浪バーベキュー広場

6月10日(土)、きなあた瑞浪内にバーベキュー広場がオープンします。土岐地区の中央、土岐川沿岸、きなあた瑞浪や櫻堂薬師が近くにあることなど、新しい瑞浪の名所として話題となる楽しい施設です。利用に関する詳細は、きなあた瑞浪のホームページに掲載されておりますのでぜひご覧ください。



中央の写真は、きなあたHP (bbq.kinahta.jp) よりお借りしました

土岐地区まちづくり推進協議会 主催

## 「草刈り女子育成教室」 9月実施予定

「わたしも草刈機を使えるようになってみたい!」「でも、草刈機ってなんか怖そう」。

そんなあなたに振動も騒音も少なく、スイッチひとつで起動できる電動草刈機を使った初心者向けの実習教室を開催します。本紙66号(4月号)に開催の予告を載せたところ、「わたしも参加したい」「面白そう」など多くの声が聞こえてきました。

この教室を受講された方には、その後、好きな時に電動草刈機を無料で貸し出しする予定です。本教室の講師は、株式会社マキタの社員さんをお願いしました。ぜひご参加ください。

予定日：令和5年9月16日(土)・・・雨天順延

会場：学園台集会所・学園台未分譲地

時間：9:00~12:00

詳しい内容や受講の申し込みは、本紙68号(8月号)の折り込みチラシをご覧ください。

問い合わせ先：瑞浪市役所西分庁舎1階

まちづくり事務局 ☎0572-56-0136 (加藤)



出番を待ちわびる電動草刈機たち



3月の指導補助者育成教室の様子

上記の「草刈り女子育成教室」の実施に先駆け、令和4年の夢づくり地域活動交付金をもとに土岐地区まちづくり推進協議会で電動草刈機10台を2月に購入しました。3月には、その指導補助者を育成するための教室を開催し、土岐地区まちづくり推進協議会の部会員らが株式会社マキタの社員さんから、電動草刈機を使った草刈りの手ほどきを受けました。9月に予定されている教室では、今回の受講者らがマキタ講師陣のサポートに当たります。

\*この事業は、コロナで中止となった集客型イベントに代わる事業として企画されました。

\*令和5年度の「草刈り女子育成教室」は、市の交付金は受けずに実証事業(試験的事業)として開催します。



# やっぱり凄い 櫻堂薬師

櫻堂薬師は、今から約1200年ほど前、平安時代の弘仁3年(812)に開基と伝えられています。寺の縁起等によれば、比叡山の高僧円仁(慈覚大師)の弟子であった覚祐(三諦上人)がこの地を訪れ、桜の霊木より薬師如来を彫って本尊としたのが始まりとされています。その後、嵯峨天皇の勅願寺となって七堂伽藍が整えられ、瑞櫻山法妙寺として創立されたと伝えられています。当時、薬師にあったお堂や坊院(僧侶の住居)の数は24坊とも36坊とも言われ、「高野山」や「比叡山」と並んで日本三山に数えられるほどの盛況だったと伝わっています。しかし、開山して後500年ほどの間に戦乱が続き寺も荒れ果ててしまいました。鎌倉時代には幕府の保護を受け、比叡山の末寺となって坊数も24と以前の勢いを取り戻すことができました。

室町時代末期、元龜2年(1571)9月、織田信長は敵対していた比叡山延暦寺を焼き討ちしました。同年10月、比叡山延暦寺の末寺だった櫻堂薬師は本山比叡山に加勢したため信長の怒りを買って、織田信長の命で森長可に焼き打ちされ、6坊を残して大半の坊院や古記録を焼失しました。その後、歴史ある名刹を焼いてしまったことを悔やんだ森長可は、鶴ヶ城主の土岐三兵衛ととともに諸堂を再建し、四天王像・十二神将像等を奉納しましたが、荒廃を止めることはできませんでした。

江戸時代に入り、当地は岩村藩の領地となり、比叡山の高僧永秀が寛文5年(1665)に本堂の再建に着手、寛文7年(1667)に現在の本堂が建立されました。

その後、明治を迎え、廃仏毀釈の嵐の中、檀家を持たない櫻堂薬師は明治元年(1868)、岩村藩から廃寺を命じられましたが、桜堂住民の努力により明治10年(1878)には近隣の臨濟宗寺院、信光寺の受け持ちとなって今日まで守り伝えられてきています。 参考：櫻堂薬師1200年展関係書籍



木造三諦上人坐像(観音堂)



全盛頃の櫻堂薬師の坊院図(本堂)

## ふるさとカルタ紹介

**ま** 松田治兵衛 死罪の罪は 年貢の減らし

木ノ番 松田治兵衛墓

**み** 美濃の国 守護の本拠地 一日市場

一日市場 八幡神社

**む** 昔は田の中 今や町中 益見白山神社

益見 白山神社

**め** めじるしは 大久手 岩村 分かれ道 益見中切辻の道しるべ

益見 中切辻の道しるべ

**も** 武士の魂 散り逝く 十三川原

清水 十三川原小里氏の墓

発行元 土岐地区まちづくり推進協議会  
編集 情報発信部会

連絡先 ☎0572-56-0136 (直通) 加藤  
発行日 令和5年6月